

2009年中堅・中小企業の グループウェア利用シェアと評価調査報告

ノークリサーチ（本社〒120-0034 東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705：代表：伊嶋謙二 TEL：03-5244-6691 URL：http://www.norkresearch.co.jp）は2009年の国内中堅・中小市場におけるグループウェア利用シェアと評価に関する調査を実施し、分析結果を発表した。本リリースは「2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」のグループウェアカテゴリに関する速報である。

<グループウェア単体では現状維持志向、今後は周辺の製品/サービス拡充が必要>

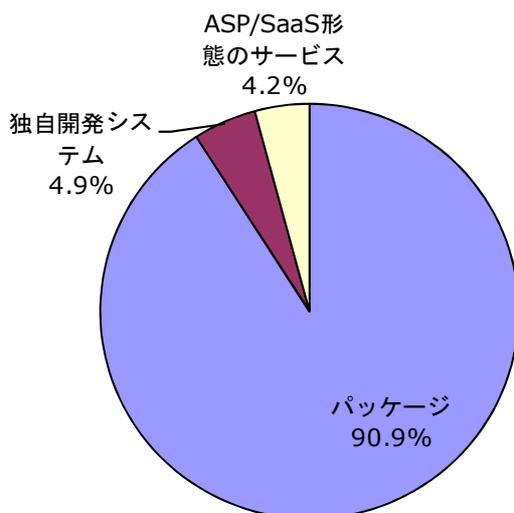
- ASP/SaaS形態は新規導入が主体、既存ユーザは現状維持意向が強く、パッケージでの利用を継続
- グループウェア単体に限定されない幅広い製品/サービスを提供できるかが今後のシェアを左右する
- 今後は他の情報系アプリケーションとの連携による使い勝手の向上が製品評価における重要ポイント

対象企業	年商5億円以上～500億円未満を中心とした国内民間企業
対象地域	全国
対象の選定	弊社所有の企業データベースから抽出
サンプル数	約5,000社対象（有効回収票1,480件）
調査期間	2009年6月～9月

ASP/SaaS形態は新規導入が主体、既存ユーザはパッケージでの利用を継続していく

以下のグラフは国内中堅・中小企業（年商5億円以上～500億円未満）の民間ユーザ企業に対し、グループウェア導入形態現状（パッケージ、独自システム開発、ASP/SaaS形態）の比率を尋ねた結果である。

グループウェア形態比率



N=918

形態比率においてはパッケージによる活用が広く普及していることがわかる。

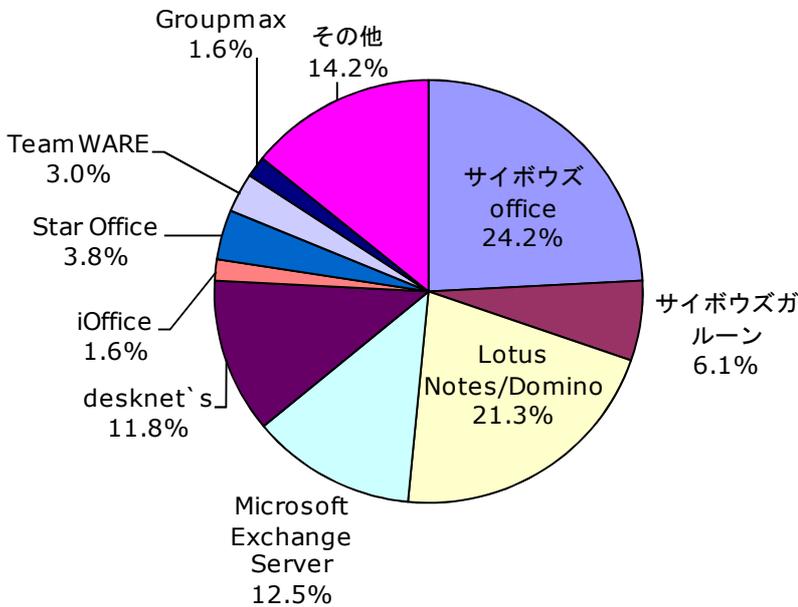
ユーザ企業固有の要件が少なく、社外からの利用が必要となるケースも多いことからASP/SaaS形態の比率も比較的高くなっている。

しかし、既にパッケージを社内で運用しているユーザ企業にとっては更なる機能改善や社外への設置などの変更に対するニーズが低く、現状維持を望む傾向が強い。

そのため、今後この比率が大きく変化する可能性は低く、ASP/SaaS形態は新興企業や新規設立の事業所といった新規導入が主体になると予想される。

グループウェア周辺の幅広い製品/サービスを提供できるかが今後のシェアを左右する

グループウェアパッケージシェア



N=834

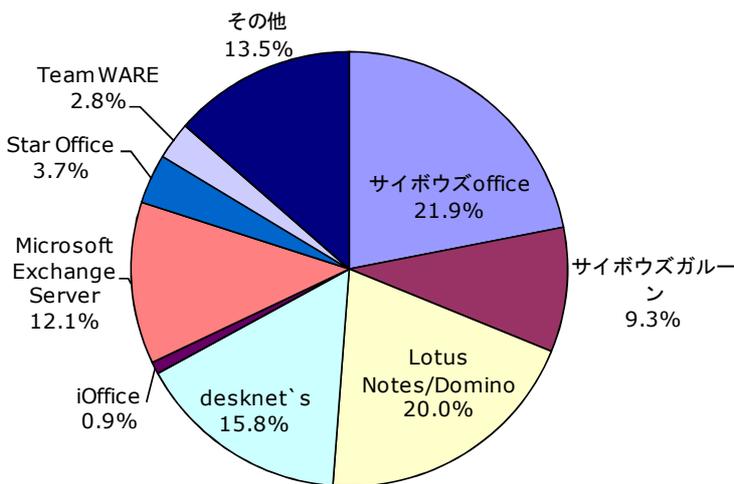
左グラフはパッケージ利用シェア（現在導入済みのパッケージ製品に関する社数ベースのシェア）の結果である。

「Lotus Notes/Domino」「Microsoft Exchange Server」といった海外製品が相対的なシェアをやや下げ一方で、「サイボウズ（Office/ガルーン）」や「desknet`s/iOffice」「StarOffice」といった国産ベンダはいずれもシェアを伸ばしている。

グループウェアではユーザが使い慣れた画面を継続して利用することを望む傾向が強く、「ヒト」の側面を考えた場合のスイッチコストが意外と高い製品である。

そのため、起業/分社化/事業所新設といったタイミングでは、過去に自身が利用していた製品を導入するケースが多く、そのことが国産ベンダの継続的な強みにつながっていると考えられる。

グループウェア利用予定パッケージシェア



N=215

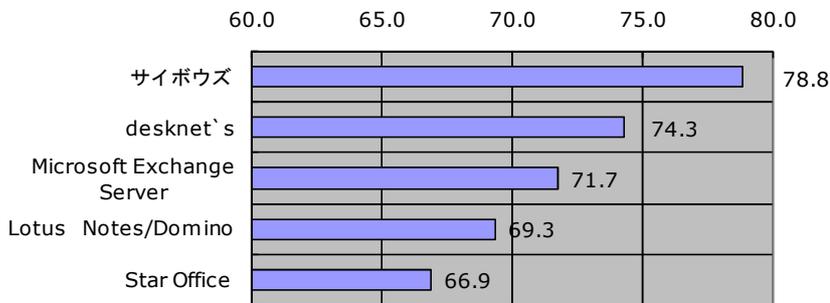
左グラフはパッケージ利用予定シェア（新規導入または今後も継続して利用する意向のあるパッケージ製品の社数ベースのシェア）の結果である。

「サイボウズ（Office/ガルーン）」は首位を維持しているが、昨年と比べて8.1ポイント減（年商50億円未満では10.8ポイント減）とやや減速している。

一方、遠隔会議との連携やSaaSへの取り組みを進める「Lotus Notes/Domino」が年商50億円未満で5.0ポイント増、グループウェア周辺の製品群を多数訴求する「desknet`s」が全体で5.0ポイント増となるなど、グループウェア単体に限定されない攻めの姿勢を見せる製品が利用予定シェアにおける伸びを示している。

今後は他の情報系アプリケーションとの連携による使い勝手の向上が製品評価のポイント

グループウェアパッケージ評価



N=834

左グラフは利用シェアにおける上位五つのパッケージに対するユーザの五段階評価（製品全体に対する総合評価）の結果である。

小規模でカスタマイズも少ない低商帯を主な対象とする製品の評価は高く、大規模ユーザ向けの製品は逆に評価が厳しくなる傾向がある。

こうした状況は以前から続いているが、ポータル製品との連携などを訴求する「Microsoft Exchange Server」は対象規模と比較するとやや評価が高い。

他の情報系アプリケーションとの連携による使い勝手の良さが今後の評価を左右するポイントになってくると予想される。

— レポート発刊のご案内 —

『2009年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価』

中堅・中小企業市場におけるITアプリケーションの動向を全国の中堅・中小の民間企業（年商5億円以上～500億円未満、1480社）の調査結果から詳細に分析した必携の一冊

価格： 95,000円(税別) ※CD-ROM版/製本版のいずれかを選択可

発刊日： 2009年10月26日

【主なレポート内容】

- ・ ITアプリケーションの提供形態（パッケージ、独自開発システム、ASP/SaaS）の現状と今後
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用シェア（社数ベースの導入シェア）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別評価（製品に対する満足度を五段階で評価）
- ・ ITアプリケーションパッケージのカテゴリ別利用予定シェア（社数ベースの導入予定シェア）

対象となるITアプリケーションカテゴリ

「ERP」「生産管理システム」「財務管理システム」「販売管理/購買管理システム」

「給与管理システム」「人事管理システム」「ワークフロー」「グループウェア」「CRM」

「運用管理/資産管理」「クライアントPCセキュリティ」「CTI」「DWH/BI」「文書管理」

「帳票」

当調査データに関するお問い合わせ

株式会社 ノークリサーチ 担当：岩上 由高
東京都足立区千住1-4-1東京芸術センター1705
TEL 03-5244-6691 FAX 03-5244-6692
inform@norkresearch.co.jp
www.norkresearch.co.jp

NORKRESEARCH